



第134号 ふれあいの里

〒632-0001 天理市中之庄町470 TEL.0743-65-1771(代)

発行責任者：鉄村 信治

編集：ふれあいの里広報委員会

<https://www.fureai-net.com/>



CONTENTS

- 1頁・2022年度 診療報酬改定と今後の方向性
- 2頁・介護医療院でのリハビリテーション科の取り組み
・作業療法で園芸療法に取り組んで
- 3頁・理学療法士からデイケアの現場へ
～利用者様・家族様のためにできること～
・やまとの取り組みについて
- 4頁・「介護付」と「住宅型」の有料老人ホームとは？
・ふりの解体ショーをエバーライフ香芝の食堂で開催しました



医療法人健和会

理事長 鉄村 信治

2022年度

～診療報酬改定と今後の方向性～

新型コロナウイルス感染症は残念ながら未だ収束とならない中、とうとう2年以上が経過しております。皆様もこの間、大変気を遣う日々を送って来られたと推察致します。

さて、先日2022年度診療報酬改定が行われました。診療報酬とは我々医療機関が行った医療行為や医薬品の処方に対して保険者(患者が加入している医療保険)から支払われる料金の事で、この価格は国が決める事になります。診療報酬は社会や経済状況に応じ2年ごとに改定されます。今回の改定はコロナ禍の真っ最中であり、小幅な見直しになるとの見方が大勢でした。ところがふたを開けてみれば、過去7回の改定でもっとも低い改定率となるなど、予想に反し我々医療機関にとっては大変厳しい内容になりました。ポイントをいくつか簡単に紹介します。

- 3** 我が国の医療分野におけるICTやデジタル化は、諸外国と比べ大変遅れている事が以前より指摘されておりました。これらの導入を推進し、患者・国民にとって身近であり、安心・安全で質の高い医療の実現を目指します。
- 4** 膨張する社会保障費の中で一部非効率や無駄な事があると指摘されており、後発医薬品や医療品の適正使用などを進め、効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性を向上します。

以上が改定の基本的視点と具体的な方向性になります。まずは新型コロナウイルス対応が最優先になりますが、同時に国が進める方針への対応も進めていかなければなりません。

まだまだ改善すべき点は大いにありますが、これまで当院の進めてきた方向性は概ね間違っていないようです。

最後になりますが、長期にわたるコロナ禍でスタッフには大変な疲労が蓄積している中、懸命に頑張ってもらっています。ワクチンや治療薬が開発され、徐々にではありますがコロナとの戦い方も変わりつつあります。今しばらくはこのような状況が続くと思われますが、近い将来に収束し、通常の医療提供体制に戻る事を祈っております。今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。



1 日本は世界で最も医療機関が充実している国の一つであるにもかかわらず、新型コロナウイルス感染症対応において色々と問題点が明らかになりました。今回の改定により、各医療機関の役割を明確化し、連携を円滑にする事によって感染症にも対応できる効率的・効果的で質の高い医療提供体制の構築をめざす事となります。

2 タスクシフト・シェアやICT活用、看護職員の収入引き上げなどが盛り込まれ、安心・安全で質の高い医療の実現のため働き方改革を推進する事となりました。

健和会理念

私達は、医療がサービス業であることを認識し、以下の目標を掲げる。

- 1・患者さん中心の医療・看護・介護
- 2・地域社会への貢献
- 3・研究心と向上心を持つ
- 4・和を尊ぶ

健和会基本方針

- 1・私たちふれあいの里の職員はいつも患者さんの意思を尊重し権利を遵守して、患者さん中心の医療、看護、介護を実践します。患者さんのADL(日常生活動作)改善とQOL(生活の質)向上のため、積極的にリハビリテーションに取り組みます。
- 2・私たちは、他の医療機関や地域の人々と連携して地域社会に貢献し、社会に開かれた施設を目指します。
- 3・私たちは患者さんから学ぶという初心を忘れず、より良い医療、看護、介護を提供できるように常に研鑽し探究する精神を持ち続けます。
- 4・私たちは力を合わせてチーム医療の遂行のために努力します。

介護医療院でのリハビリテーション科の取り組み

リハビリというと、「座る」「立つ」「歩く」といったように、身体を動かし、出来なくなった機能を回復するというイメージが強いと思います。もちろん介護医療院のリハビリでもそのような運動を実施しますが、それ以上に日常生活の質や満足度をいかにして上げることが出来るかという点もとても重要だと考えています。日常生活というのは食べる、トイレに行く、お風呂に入るといった事だけでなく、実際はそれら以外にも「仕事に行く」「誰かのためにご飯を作る」「音楽を聴く」「友達とお話やお出かけ」等たくさんの活動があります。そういった楽しみや役割を介護医療院の生活の場でも少しでも感じてもらえるようにと、様々なレクリエーションを企画し実施しています。

秋祭りと呼ばれる金魚すくいをしてもらったり、利用者様と一緒に



に楽器や歌の練習を行い、皆さんの前で発表会をしてもらうといったような音楽会も定期的を実施してきました。現在はコロナ渦でなかなか集団活動をするのは難しいですが、個別に歌唱や楽器の演奏練習などの関わりは継続して取り組んでいます。ほかにも、皆がいるホールに大きなのを作って、リハビリの時に個別で的あてゲームに挑戦してもらったり、毎月その季節に応じた作品を利用者様一人ひとりに作成してもらい、それらを一つの作品としてフロアの壁に展示するなど、個別でありながらも他の方との関わりが感じられるような活動提供をしています。

これからも、医療院のスタッフ皆で色々な案を出し合い、このコロナ渦においても利用者様に少しでも楽しく刺激のある生活を送ってもらえるように企画・実施していきます。

(奈良東病院リハビリテーション科 主任 作業療法士 山本 奈保)

作業療法で園芸療法に取り組んで



園芸には心や身体を癒す効能があり健康増進が期待できます。植物に触れたり愛でたりすることで色、香り、形、肌ざわり、味わいなどの五感が刺激されます。また、快感情が醸成され緊張の緩和やストレスの軽減が図れます。継続的な植物栽培活動は新陳代謝を増進し心身の賦活を促し、季節や時間の感覚が得られ、生活のリズムを整えることができます。さらに、役割や仕事が発生すると達成感、充実感、有用感をもたらす、植物を利用した創作活動での巧緻的な作業は注意力や集中力、判断力を必要としこれらの増進を図ることができます。さらに自己表現の機会となり、意欲や生活の質の向上につながります。

このように園芸はとても有用な作業活動の一つで、園芸療法として利用されています。私は兵庫県知事認定園芸療法士の資格を習得しており、作業療法の中で園芸療法を取り入れています。これまで栽培活動や創作活動などを実施しました。



患者様と一緒に種をまき、芽生えから結実まで育てていきました。植物の日々の生長による変化は、やや単調になりがちな入院生活に刺激を与え、未来への期待も与えてくれます。開花を楽しみにされ、開花を目にしたときの患者様の目の輝きはとても印象的で心に残りました。ドライフラワー、押し花などを使用して季節の飾りなども作製しました。楽しく生き生きと作業を進めていく患者様の姿があり、完成すると喜びや満足感、達成感を得られたようでした。また、作品を紹介しコミュニケーションの機会も持てました。

そしてなによりも園芸療法を通して喜びや楽しさを共感することでセラピストである私自身にも癒しを与えてくれました。

現在はコロナ渦のため、計画的に取り組むことができていませんが、中庭のリハビリ花壇の植物を使用してさらに広めていきたいと思っています。

(奈良東病院リハビリテーション科 作業療法士 嶋田 幸子)

理学療法士からデイケアの現場へ ～利用者様・家族様のためにできること～

「おはようございます。ならふくじゅ荘の比見です。」の電話で私の朝の仕事が始まります。利用者様に送迎の時間をお知らせするための電話です。

現場で理学療法士としての経験しかなかった私でしたが、昨年5月、デイケアに異動となりました。これまでの経験から利用者様のご自宅に送迎に伺うことは想像も付きませんでした。不安しかなかった1年前は電話の声もただどしく、頼りなさそうに聞こえていたと思います。やることなすことすべてが新しいことで、自分が今まで経験してきたことをどうやって活かせばいいのか、どの方向にすすめばいいのか見当も付かないまま、ただ目の前のことをやっていくしかありませんでした。そんな中で

も、周りの方からのサポートや利用者様・ご家族様に声をかけていただき、会話をしていくと理学療法士として関わってきたときの楽しさや嬉しさのような感覚を時々感じるようになりました。

「やっぱり、自分は利用者様たちとコミュニケーションを取りながら仕事をする事が好きだ。」と再認識し、それからは自分のやるべきことの方向性が見えてきたように思います。今では朝の電話で「いつも



元気ですね。」とっていただくことも…。

コロナ禍でデイケアの活動も制限される中、なんとか新しい事はできないか、とデイケアに関わる職種ともしっかり意見交換をしながら試行錯誤し、少しずつ形になってきたこともあります。利用者様からアドバイスを頂く事もたくさんあります。利用者様に楽しい時間、有意義な時間を過ごして頂ける場所でありたいと思うスタッフに囲まれているので、私も今後の動きが楽しみです。

デイケアは利用者様のためのサービスだけでなく、ご家族様にとっても有意義な場所であると考え、関わってくださる方たちとの情報共有を怠らないようにしていこうと思っています。

(ならふくじゅ荘 通所リハビリテーション 係長 比見 有紀子)



やまとの取り組みについて

私は介護付有料老人ホームやまとで介護職として勤務させてもらい、今年で5年目になります。私見ではありますが、やまとでいろいろ感じたことがあり、順番に伝えていきたいと思います。

1つ目は幅広い世代の方が働き活躍していることです。やまとでは要支援1から要介護5までの入居者様がおり、介護度に合わせたさまざまな個別ケアが必要になってきます。他職種との連携はもちろんですが、入居者様に笑顔を届ける為にいろいろな世代から意見を出し合い職員みんなで話し合いを行い、関わりをもっています。1対1でのみの関わりではなく、やまとの職員みんなで一人の入居者様を観ることを意識し、取り組んでいます。

2つ目は何でも相談できるチームワークが確立していることです。入居者様のケア方法から業務に関わることまでほんの些細なことでもすぐ思いを伝えることのできる環境であり、外国人スタッフも気にせず相談してくれています。現在もコロナ禍で家族様との直接の関わりは多くありませんが、その中でも物品を届けていただいた際やメール等で、家人様とも情報交換をしています。その際、特にやまとで意識していることは、入居者様と直接ゆっくり会うことがなかなか出来ない状況で、家人様の不安に繋がらないように管理職も交えて相談し、入居者様や家人様にとってより良いケアが導き出せるように努めています。またコロナが収束し、以前のように家人様と笑顔いっぱいに関わることを楽しみにしています。

さらに3つ目は男性・女性関わらず、仕事と子育ての両立がで



きることです。やまとでは最近男性職員2名が育児休業を取得しています。家族の時間を大切にしながら仕事に励む職員が多くいる中、お互いが協力し合い、日頃から相手の気持ちを考えることの大切さも学んでいます。このような関係性を築けることで同時に質の高いサービスを提供することに繋がるのではないかと考えています。

今後も人間関係の構築を大事にしながら入居者様や家族様に喜んでいただけるよう、業務に取り組んで参ります。

(介護付有料老人ホーム やまと 中西 祐太)

「介護付」と「住宅型」の有料老人ホームとは？



エバーライフは「有料老人ホーム」ですが、有料老人ホームには、介護付、住宅型と健康型の3種類に分類されるのをご存知でしょうか？

エバーライフに見学に来られた方には有料老人ホームの違いをご存知なかったり、誤った認識を持っておられる方も多いです。2021年4月1日現在、奈良県内に有料老人ホームは120件あり、その内31件が「介護付」、89件が「住宅型」、「健康型」は0件です。今回は奈良東病院グループの「介護付有料老人ホーム」【エバーライフ(天理)】【エバーライフ香芝】【エバーライフ御殿山(枚方市)】【エバーライフ加島(大阪市淀川区)】【やまと】と「住宅型有料老人ホーム」の特徴を理解しましょう。

「介護付有料老人ホーム」は介護保険制度の居宅サービス「特定施設入居者生活介護」の指定を各都道府県から受けており、介護サービスの提供基準を満たしている施設に限られます。施設の外観だけで「介護付」か「住宅型」かを判断することはできませんが、施設看板に「介護付」の記載があればもちろん介護付有料老人ホーム、「有料老人ホーム」のみ記載の場合は「住宅型」が多いです。

「介護付」の場合、介護職員や看護職員の配置が義務づけられており、その施設所属の職員が食事や洗濯、清掃等の生活支援、排泄、入浴や食事介助等の身体介護や機能訓練、レクリエーション等の介護サービスを提供します。エバーライフでは看護職員の配置は日中のみですが、「やまと」のように看護職員が24時間体制の施設もあります。

「住宅型」は、食事や洗濯などの生活支援サービスが受けられる

施設ですが、施設職員が介護保険を利用したサービスを提供するのではなく、施設とは別に訪問介護や訪問看護、通所介護等の外部サービスを利用しながら施設で過ごします。デイサービス(通所介護)や居宅介護支援事業所等が併設されている施設もあり、入居者が在宅サービスを利用しやすいように配慮されています。

介護保険サービスを利用する場合の自己負担額ですが、「介護付」の場合は、要介護度で費用が決まり、エバーライフでは【要支援1:約7,100円~要介護5:約28,000円】(自己負担割合が1割、1か月30日の場合)の一定額の費用が必要です。一方、「住宅型」は必要に応じて介護サービスを利用する為、毎月の自己負担額が一定ではなく、介護度が重くなり、介護サービスの利用頻度が高くなれば介護保険サービス以外の実費有料サービス等の費用がかかる為、月額利用料が「介護付」より高額になるケースもあります。

「介護付」、「住宅型」は外観は同じでも、それぞれの特徴があり、入居条件、入居対象者、費用やサービス内容も施設により異なります。様々な観点から有料老人ホームを検討していただき、奈良東病院グループの「介護付有料老人ホーム」にご興味があれば、「百聞は一見に如かず」のことわざ通り、ぜひ、見学にお越しください。

(介護付有料老人ホーム エバーライフ 館長 西村 雅)

ぶりの解体ショーをエバーライフ香芝の食堂で開催しました



エバーライフ香芝では、コロナ禍の中、入居者様の外食に行きたいとのご要望が度々ある中、お断りしないといけな状況が続いていました。そうした気持ちに応えられない事に対して、何か施設内で出来る事は無いかと、多くの職員が感じていた中、私が鮮魚に関連する仕事をしていた事を知っていた職員より、「解体ショーをやってみたら。」との提案をいただき、ぶりの解体ショーを比較的刺激の状況が落ち着いていた1月初旬にかけて、感染対策に留意しながら、行う事になりました。

企画書を作成したのがすでに12月初旬でしたが、縁起を担いで正月早々に行いたい為、大阪食品さんはじめ、他施設の方にも無理をお願いし、国内産の脂ののったぶりを調達していただきました。また、短い期間の中、必要な道具各種も用意していただきました。

なお、開催日は、1/6、1/7、1/8で、3日間、各階に分けて行いました。10年以上のブランクがある事もあり、本当に解体ショーが出来るのだろうかと不安な気持ちがありましたが、入居者様には販促物の制作やセッティングにたずさわっていただき、また周囲の温かいサポートもあり、5kg大のぶり(スーパーで切り身で売っているサイズのぶりです。)をまずは、代表の入居者様に持っていただき、

3枚卸しにして、皮引きを行い、お造りにする事が出来ました。

捌きたてのお造りを食べる機会は、そうそうない為、お替わりをされる入居者様が多数おられ、大変ご好評をいただきました。またやって欲しいとのお声を多数いただきましたので、今後もその機会を提供出来ればと思います。

(介護付有料老人ホーム エバーライフ香芝 中野 哲史)



編集後記

やわらかな春の日差しが降り注ぎ、桜の花も満開を迎えようとしています。小さな草花も芽を出し始め、本格的な春の到来となりました。今年の3月は一時20度を上回る非常に暖かい日が続きましたが、昔から三寒四温とはよく言ったもので、その後、寒の戻りがあり、気温差の大きい月となりました。

4月になると暖かい日が増えてきますが、朝夕の寒暖の差はしばらく続きます。体調管理の難しい時季ですが衣服等で調整をしていただければと思います。

さて、世間ではまだまだ新型コロナウイルス関連のニュースが連日報道されています。収束に至るにはまだもう少し時間が必要のように感じられます。これまでどおり、マスク、手洗い、うがいの徹底をお願いします。

(広報委員長 橋本 重之)

